

議 長 休憩を解いて再開をいたします。 (10時35分)
引き続き一般質問を行います。受付番号第3号、田代実君の一般質問を許します。登壇願います。

2 番 田 代 議長の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。
受付番号第3号、質問議員、第2番 田代実。件名、通学路に防犯カメラの設置を！

要旨、松田町第5次総合計画「防犯対策」の取り組みにあるように、自主防災団体（防災ボランティア）の活動をよく目にし、また地元の城山防犯ボランティアの総会に招かれ、活動を詳細に知ることにより、頭の下がる思いです。加えて、犯罪抑制のための防犯カメラの設置も重要と考えますので、次のことについてお伺いします。

(1) 防犯カメラの設置状況と、通学路への設置計画について。

(2) 新松田駅を起点とするタクシー会社に対し、ドライブレコーダーの設置（更新）を支援することについて。

(3) 第5次総合計画は今年度で完了するので、31年度以降の新たな総合計画の基本目標指標として、防犯カメラやドライブレコーダーに関する数値を位置づけることについて。

以上のとおりです。よろしく申し上げます。

町 長 それでは、田代議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。先日からニュースになっております、新潟県に起きました小学1年生の女子が殺害されるという痛ましい事件が起こり、子供たちを取り巻く事件が後を絶たないというようなことの状況であります。当町におきましても人ごとではないなというふうに考えております。このような事件では、防犯カメラは非常に有効なものであり、事件を未然に防ぐ抑止力の向上にもなることから、防犯カメラの設置は重要なものであるということは理解をしております。

現在までの当町における防犯カメラの設置状況を申し上げますと、現在のところ5台の防犯カメラを設置しております。設置場所につきましては、JR松田駅南口の入り口のほうに2台、店屋場公園に1台、松田中学校の裏側に1台、松田小学校の正門前に1台設置しております。設置場所の選定につきましては、

現在のところは、自治会及び警察署からの要望や不審者情報などをもとに設置場所を決定し、地域の方々の御理解を賜った上での設置ということになっております。今年度も2台設置する予定としており、来年度以降も関係各位、また団体の方々より要望をいただいてから計画的に設置台数をふやしていくよう考えております。

通学路の安全対策といたしましては、登下校時の町内各所での防犯ボランティアの方々による見守り活動や、石川肉屋付近での交差点においての見守り活動、下校時の同報無線の活用による町民の皆様への見守りの呼びかけ、また、町職員による1日、15日の町内各所での挨拶運動などなど、さまざまな形で通学路での安全対策を実施しているところでもございます。また、町民の皆様方の御協力により、不審者に関する情報も速やかに伝達され、町、教育委員会、学校、警察とが連携が図られ、情報の内容によっては、同報無線、安心メールにより町民に対して注意喚起を行うなど取り組みを行い、事件の抑止につながっていると考えております。今後、防犯カメラの設置の際には、プライバシーの保護の配慮、地域の皆様方の御理解、要望などを十分に考慮した上で、通学路や公園、不審者情報発生場所など、計画的に設置するよう考えてまいります。

2点目の御質問であります、新松田駅を起点とするタクシー会社に対し、ドライブレコーダーの設置についてでございますが、現在新松田駅に常駐されておりますタクシー会社2社においては、全てのタクシーにドライブレコーダーが既に設置されていると伺っております。数年ほど前より設置されているとことで、警察等から事件の捜査に関する問い合わせに対し情報提供を行っているということでございます。今後も継続して設置していくとお伺いをしてまいりましたので、町の防犯についても御協力をお願いしてまいりたいというふうに考えております。タクシー会社に対してのドライブレコーダーの支援につきましては、防犯に特化したものではなく、今後観光や見守り、福祉、災害時の対応なども含め、包括的な協定等を結ぶなどの協議を行い、これまで以上に連携を深め、官民連携となった、一体となった包括的な取り組みとなる中で検討してまいりたいというふうにも考えております。

3点目の御質問、新たな総合計画の基本目標として、防犯カメラやドライブ

レコーダーに関する数値の位置づけについてでございますが、防犯カメラにつきましては、今後は、自治会や地域からの意見や要望を伺い、全地域について計画を策定し、各年度の設置目標台数を設定していくよう考えております。また、ドライブレコーダーの設置につきましては、広報、ホームページ等により、町民や企業、団体の皆さん方にドライブレコーダーの必要性や効果などを周知し、普及啓発を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

2 番 田 代 御丁寧な回答ありがとうございました。それでは、順次質問させていただきます。初めに、質問項目、3項目あるんですけども、その前の前段の内容として、自主防犯団体、防犯ボランティアについて、少々伺いたいと思います。

総合計画の基本目標数値ですが、これは26年度に14団体、これが30年度30団体ということで、防犯団体のこの育成を強化していくというふうな基本方針が出ているんですけども、今現在、26年度末で結構なので、当初14団体で何人ぐらい防犯ボランティアがいられたか。それと、現在、29年度末で何団体で何人ぐらいなのか、この状況について、現況についてお知らせください。

安全防災担当課長 御質問ありがとうございます。田代議員の質問にお答えさせていただきます。現在、御質問いただきました防犯ボランティアの団体数並びに数ですけども、26年度につきましては14団体、209人。29年度に関しましてはですね、すいません、13団体で210人となっております。以上です。

2 番 田 代 20団体の目標に対して1団体減ってしまったと。ただ、人数は1人ふえているということのようなんですけども、この減少の要因というのはどういったことでしょうか。

安全防災担当課長 すいません、1団体マイナスというのはですね、こちらの減少になった1団体がですね、その当時、26年度の活動段階でお1人で活動されてたと。そのときの自治会長であったわけですけども、その方がですね、自治会長をおやめになるときにこちらの団体が一応消滅、なくなってしまったといった形になりまして、ですので、それがマイナス1団体といったところで、そのほかの団体、13団体については変わらずといった形になります。以上です。

2 番 田 代 よくわかりました。防犯ボランティアについては、地域の交通面、交通事故

の抑制と、もう一方では、誘拐未遂事件みたいなのが起きて各地域が自主的に立ち上げたという経緯もあるように感じてます。そのような中で、町として予算面で30年度予算を見させていただきますと、保険料が14万1,000円計上されているんですけども、これ以外の額として町として支援したりとか連携したりしている内容について、どのような内容でやっているのか、お答えください。

安全防災担当課長 防犯ボランティアの支援につきましてはですね、現在のところ、防犯ボランティア連絡協議会といったものを立ち上げております。こちらにつきましては、各団体の団体長並びにですね、小学校の校長先生、教頭先生であつたりですか、あとは警察から等々ですね、お呼びしましてですね、協議会のほうを開催をしております。その際にはですね、各ボランティア団体からの情報提供ですか意見交換等を行いましてですね、また、警察からですね、現状ですとか、あとは見守り活動のポイントですとか、そういったもののお話を伺ったりとかしてですね、防犯ボランティアの知識を深めていただくと。また、各団体間ですね、情報交換を行っていただくといったような活動をしております。またですね、今お話でもありましたけれども、ボランティア保険に加入をしておりますのと、あとは、皆さんよくお目にかかっているかと思えますけれども、ベストをですね、支給をしていると、そういった支援をただいましてあります。以上です。

2 番 田 代 防犯ボランティアについてはこれで終わらせていただきます。

それでは、本題、1から順に質問させていただきます。初めに、先ほど町長の回答で、新松田駅南口に2台というふうに聞いたような感じなんですけど、これは間違いないですか。北口ですよ。（「JR南口だね」の声あり）ああ、そうか、JR南口か、すいません。すいません、わかりました。JR南口ということで、同じ場所でした、私の考えてるのと。

ここで、今お話のあった5台ですか、その中で比較的人気がないところが店屋場公園、それ以外は、特記事項として松中の裏側というのは、4年ほど前にひき逃げ事件があつて未解決になっている箇所かなというふうに感じてます。あと、松小校門、正門ですか。そうすると、意外に、店屋場公園以外は人気のあるところが多いんですけども、私が質問の中で設置計画ですか、これにつ

いて、関係機関と声を聞きながら進めたいというふうな回答だったんですけど、教育課の立場として、通学路をある程度指定していると思います。その通学路が何本なのか。これは、今回この質問については松田地区にちょっと限らせていただきます。松田地区の通学路が何本ほどあるのか。それと、学校、教育委員会の立場として、交通の面という切り方もあるんですけども、今回は犯罪ということで、誘拐とかそういう関係にちょっと絞らせていただきたいんですけども、その関係で危険な箇所、そういった箇所あたりを把握されてるか。それが1点です。

一方で、防災のほうでは連絡協議会、防犯ボランティア連絡協議会というのを立ち上げているということなんですけど、そのような中で、情報提供または情報交換の中で、そういった危険なところに対する要望、そういったものが出てくるかどうか。この2点について、教育課と…この1点について教育課と防災のほうで御回答をお願いいたします。

教 育 課 長

まず、1点目の松田地区の通学路につきましては、松田小学校については4コースございます。色別で緑コースが庶子のほうの地区。赤コースというのは新松田、中沢方面。黄色コースというのは河内から、仲町から神山まで抜けるコース。青コースというのが町屋、店屋場、こういった川音川の南北の地区です。松田中学校につきましては、何コースとは設けてないんですが、ほぼ生徒が学校まで通うコースについて網羅しているような感じで設定されております。

2点目の防犯、誘拐とかそういった関係で危険な箇所を把握してるかということでございますが、学校やPTAの役員さんからは、ロマンス通り、交通量は多いんですが、やはりロマンス通りも松田小学校、松田中学校の通学路に指定されてますので、道幅の関係とか交通量の関係で、（「防犯」の声あり）防犯の関係は、把握してるのはですね、沢尻の線路の下とか、そういったところが学校からは防犯も交通に対しても危険だということを聞いております。以上です。

安全防災担当課長

ボランティア団体、防犯ボランティア団体からですね、御要望のほうはですね、何か所かいただいております。店屋場になりますと御殿場線のガードの下

ですとか、あとは中沢自治会、加藤工務店の前のあの通り沿いですね。ですとか、城山ですと中屋敷児童公園ですとか、こういった夜になると少し暗くなって人が少ないところ、こういったところの要望は上がってきております。以上です。

2 番 田 代 どうもありがとうございました。防犯カメラについて設置状況はお伺いしたとおりでございますけれども、26年から29、4カ年ですね、設置して4カ年ほどたってるんですけども、この録画されたデータを活用した状況、例えば何か問題があつて検証したり利用した状況、これについては今までどうだったんでしょうか。

安全防災担当課長 活用状況としましては、警察署より捜査の協力といったことで御依頼をいただいております。今現在ですね、5件の、27年が2件、28、29、また30年度と、1件ずつということで5件のですね、依頼をいただいている実績がございます。以上です。

2 番 田 代 これに関しては、町内の方が被害に遭ったというよりも、もう少し広域的な面で情報提供したと、このように理解してよろしいですか。

安全防災担当課長 基本的には、町内も含めまして、町外の方に関しても入れましてですね、5件といったことになります。以上です。

2 番 田 代 私が承知している範囲では、すごい大きい事件はその中では発生してないと思うんで、ある程度抑止…あ、そうじゃない。少し、もう少し詳しく、データの利用状況で、町内の方にちょっと関することで、プライバシーの関係もあるので、その辺ちょっと含みを持った中でお答えください。

安全防災担当課長 御依頼いただいた中でですね、お話できる範囲で言うと、窃盗事件、窃盗未遂があつたりですとか、ひったくりですね、そういったものですね。あと自転車の盗難、あとはわいせつというか、少し、わいせつという…少しく、何ですかね、特徴がある方というんでしょうか、そういった方の目撃情報といったところの関係で御依頼をいただいております。

2 番 田 代 最後は変質者の情報提供、そういうふうにご理解させていただきます。

やはりこの5台設置してあることによって、その前がゼロと比べると、ある程度抑止効果になっているというふうなことは誰が考えてもそのとおりだと思います。

います。

そこで、1点目の本題の通学路への設置計画、これについて質問したいと思います。確かに回答の中ではいろいろ要望を聞きながら調整していきたいと、そういうふうにあったんですけれども、これもやはり、やっぱりいいものですから、どこの自治会でもどこの地域の方でもぜひつけてくれとなると思います。その中で、やはりお金がかかるし、恐らく耐用年数でも五、六年、こういった機器って五、六年あたりだと思うんですけど、もっても七、八年とか10年ぐらいで更新していかなければならないという中で、ここで一番私、お話ししたいのが、先ほどあった学校関係者ですね。学校教育の関係、または自治会の方、防犯ボランティア、そういった方の声を聞きながら、あとはやはり松田警察の防犯関係の専門家、そういった方を交えた設置計画を策定していく必要があると思います。まず初めに、それが一番聞きたいことです。

それを前提にして、1台当たりこのカメラというのは、たしか予算的に30万ぐらいという記憶があるんですけども、1台当たりの単価と、あとはランニングコストですね、これについてはお幾らぐらいかかっているのか、まずこれが前段の質問です。

安全防災担当課長 単価につきましてはですね、1台大体25万円程度になります。コストに関しましては、基本的には電気代ということになりますので、年間大体5,000円程度になります。以上です。

2 番 田 代 それでは、本題の設置計画なんですけれども、これについて、3番の質問とも関連するんですけれども、やはり今お話ししたように、ある程度町としてこうなると、自治会は確かに要望で上げてきますけれども、しっかりした骨子、そういったものは防犯計画をつくってやるべきだと思うんですけれども、これに関するお考えを、これは町長に、すいません、お願いします。

町 長 御質問ありがとうございます。おっしゃるとおりにですね、今のところは、どっちかと言えば場当たりのやってるような感じなんです。なので、協議会の中で要望が出てますけれども、先ほど来言っていたように、どこが危ないのかというのは、誰目線かというとのもまたあたりだと思うんですね。なので、協議会の方々目線でもありますし、小学生であったり中学生から

も意見を聞く中で、我々としては集約してですね、町としてまずこういったところにあったほうが望ましいという計画を立てて、それで協議会なり、また自治会の方々に御理解をいただきながら、そのプライバシーの問題もあつたりとかするということもありますので、一つずつ丁寧に設置するようなことを進めるために、今後その計画策定、先ほど言われた骨子策定をですね、そういった意図の中でやっていくべきだと、私もそう思っております。

2 番 田 代 先ほど町長、回答、一番初めに読み上げる前に、新潟の少女誘拐殺人事件、そのことを引き合いに出されました。防災担当課長は新しくなられたので質問をよそうかなと思ったんですけども、やはり弱者、特に小学生、そういう弱者を守る視点というのは非常に大事だと思います。それとあとは中学生あたりの生徒が狙われる性犯罪とか、そういったものでいろんなジャンルがあると思うんですけども、やはり変質者対策、これがやっぱり防犯としてやっぱり私は一番力を入れる面だと思います。そういう中で、今、町長から場当たりのではなくて、専門家を交えたり、協議会の声とあつたんですけども、そういう意見いただいたんですけども、この弱者を守る視点というのが私は大事だと思うんですけど、町長、お考え、どうでしょうか。

町 長 もうまさにおっしゃるとおりだと思います。ですので、その大人の目線というよりも、やっぱりこう、大人の目線はどうしても高いですしね、いろんな面もありますし、子供がやっぱり、ここ、何か嫌な感じがするとかという、やっぱり子供が感じることもあろうかと思うので、そこのあたりは、大人の感じたことと、子供にもやっぱりアンケートなり意見を聞いて、子供がそう思ってるんだったら大人がそう思わなくてもつけなきゃいけないかもわからないということも考えながら、設置計画をしっかりと立てていきたいなというふうには思っています。以上です。

2 番 田 代 明確な回答ありがとうございます。ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、ドライブレコーダーの設置、更新支援ということで、2社のタクシー会社にもう設置済みだということで、私も先日、この質問を書き終わった後、タクシーに乗ったときに運転士さんに伺ったらそのようなことでした。単にこれ、設置のときとか更新のときに補助金というよりも、私が一番ちょっとお話

ししたいのが、防犯カメラというのは、先ほどお話ししたように、ある程度精査して危ないところに設置したとしても限界があると思います。その中で、24時間とは言いませんけど、かなりの時間帯、タクシーが朝早くから夜遅くまで動いています。そのような中で、町長も回答にあったように包括的な連携、そういったものに対する支援なのかなというふうに感じております。これ、書き終わった後からそういうように思うようになったんですけども。基本的には、インターネットで調べてみますと、ドライブレコーダー、1台当たりカメラと付属品、SDとか、メモリーとか電源ケーブル、こういったものを入れて4万円ぐらいが1台の単価なのかな。それで、30台ぐらいですかね、タクシー会社の方の話ですと、松田から出てる台数なんですけれども。120万、更新時期に一気に来るので、そのときにお金を出すのがいいかというよりも、そういった防犯的なドライブレコーダーのデータをいろんな面で、いい面で活用するような協定を結ぶ中で、あわせて、大きい金額でなくてもいいんですけども、ある程度協力してもらおうということで支援した中で防犯体制を強化していく。または、観光、福祉政策にも役立てていくと、そういうようなことで、タクシー会社は要らないよということであればいいんですけど、町の姿勢としてもやはり有効に活用できるようなすぐれものなので、こういったもの、それとあと…についてどのようにお考えなのか。もう少し詳しい、先ほどの回答に肉づけした詳しい回答をお願いしたいと思います。

いや、町長、お願いしますよ。新人ですから。

町長 ありがとうございます。今おっしゃられるように、もうタクシー会社さんとの連携はですね、実は2年ぐらい前からいろいろ考えてまして、なかなかその先にはですね、ちょっとなかなか進まっていなかったところだったんですけども、非常にその防犯という目でいけばですね、ドライブレコーダーというのは新しい目といいましようかね、そういうふうになりますし、ただそこだけタクシー会社さんをお願いするというよりも、これから観光というような格好の活性化の中のこともありますし、高齢者福祉対策としてのタクシーの利用だとかというののもあって、また子供の見張りだとかもありますしね、そういったことの中で、先ほどちょっとお話をさせていただいたように、包括的にさまざま

まなところをお願いをしている分、そういった支援が可能な範囲の中で支援をさせていただき、お互いがやっぱりウィン・ウィンになるような格好の中でやっていけたらなというふうに思っています。やはりタクシー会社さんというのは、地元の今後の公共交通の担い手になるというのはもう十分に考えられますしね、やはり狭い道がたくさんありますから、じゃあバスを走らせるというわけにもいきませんし、そういった面では、今後御提案いただいたような格好の中でタクシー会社さんとの連携をですね、さらに深めてという、先ほど表現したようにですね、お話をさせていただいていきたいというふうに考えています。それも総合計画の中で盛り込めるものはですね、盛り込んでいながら進めてまいりたいと考えています。以上です。

2 番 田 代 どうもありがとうございます。先ほどもお話ししたように、設置支援ではなく、包括的なものに関する協定に対する支援というふうなことが一番ベストかなと私も感じております。

そこで、担当課長に、わかったらで結構です。ドライブレコーダーのデータを活用したりだとか、あと先ほど町長からお答えいただいた包括的な面での支援という協定ですか、そのような協定を結んでいる全国の市町村の事例なんていうのは、ちょっと難しい質問ですいません、全国でそういった協定を結んでいる市町村があるか、ないか、わかればということでお答え願いたいと思います。

安全防災担当課長 包括的な協定に関してですけれども、この辺ですと、タクシー会社はですね、結んでいるのをちょっと調べますと、平塚市のほうで、タクシー会社とコンビニと警察で、この3者で協定を結んでいます。どういうことかという、夜ですね、コンビニですと店員さんも1人というような状況で、駐車場にですね、たむろしてしまつて事件につながってしまうといったものの抑止というところで、コンビニの駐車場にタクシーを常駐させて、そこでとめさせるといったようなことをやっている市町村がありました。あとは、大体…大体というか、タクシー会社と警察とですね、がそういった協定を結んでいるところがありまして、ちょっとお調べした中では、市町村とタクシー会社が協定を結んでいるというのが、ちょっと私のほうでは、今のところ確認がとれませんでした。そう

いったところで、タクシーというのはですね、ランダムにですね、走りますので、そういったところのそのドライブレコーダーというのはですね、事件の抑止と申しますか、犯罪が実際に起きた段階でですね、非常に事件解決につながる一つの近道なのかなと、非常に大事なもののなのかなというふうには感じます。以上です。

2 番 田 代 ありがとうございます。ドライブレコーダーについては、最近、数年で普及した器具ですので、今のお話の平塚市の例だとか警察の例、個別で犯罪抑制ということなんですけども、先ほど回答にありましたように、包括的な考えの中の協定を結んで、いかに新しい器具を町に得になるように利用していくかということについて、まだ総合計画策定にこれから入ると思うので、いろいろ議論した中で位置づけをしていただけたらありがたいと思います。

最後の質問に移らせていただきます。3番の第5次総合計画、これが来年の3月で完了します。新しい総合計画については、これ、政策推進課長にお伺いしますけども、もう最後に入っていると思うんですけども、計画期間、何カ年ぐらいを見ていただけるのか。それと、あとは今の進捗状況ですね、この辺についていかがでしょうか。

政策推進課長 まず、期間につきましては、前5次総合計画と同じ8年間を今考えているところでございます。この総合計画の第5次につきましては、ことし30年度を目標年次としている事業でございます。その今までの課題をですね、今精査をしまして、さまざまな課題をまとめているところでございます。進捗状況につきましては、昨年度ですね、まちづくり座談会ということで、地域に入りまして、さまざまな意見を把握し、それに対する課題を反映していきたいというふうに今考えてございます。また、町民アンケート調査を平成30年の3月に実施しまして、その回答を今分析し、実績をまとめ、6月に総合計画審議会の第1回目を開催して、早い段階で策定のほうに臨んでいきたいというふうに考えてございます。なお、6月終わりから7月にかけては、町民の方ともう一度ですね、団体等のヒアリングも含めまして開催をし、あわせてですね、プラン策定に臨んでいきたいというふうなことで進捗状況のほうは説明を終わりにさせていただきます。以上です。

2 番 田 代 8カ年ですか、31年度から8カ年の計画期間と。昨年からいろいろ聞き取りしていると。今回、私の質問については防犯対策ですので、これに絞り込んでお話しさせていただきます。この3番でお願いしているように、防犯カメラとドライブレコーダー、現計画には数値目標出ておりません。やはり人的な面で防災ボランティアというのは本当に大事だと思います。そのボランティアを大事にするとともに、やはりそれなりの器具、すぐれものの器具を駆使して抑制につなげるというのが安心・安全のまちづくりの一つだと思います。これについて、基本目標指標、数値でぜひ掲げていただきたいと思いますけれども、この考えについてはいかがでしょうか。どちらの課長さんでも結構です。

安全防災担当課長 先ほど町長の答弁の中でもありましたけれども、防犯カメラにつきましてはですね、これから計画等々を作成させていただいてですね、当然総合計画のほうにもですね、その辺、台数、数値を含めて記載させていただきたいというふうに考えております。ドライブレコーダーにつきましては、基本的にはタクシー会社さんのほうとその協定といった形で御協力し合う関係性を築いていきたいなというふうに思っておりますのと、町民の方、または法人等々に関しましてはですね、こちらのほうからPR等々をしましてですね、普及に努めると、そういった形でやっていければなというふうに思います。以上です。

2 番 田 代 ありがとうございます。ぜひそのような形で、大事な機械ですので、位置づけをして進めていただきたいと思います。

あと、政策推進課長にお願いします。いろいろ地域懇談会等で要望をお伺いしていると、そういう中で、今回防犯対策についてある程度絞り込んでいただいて、やはり強力に進める内容、その辺について総合計画に反映していただきたいと思いますが、どうでしょうか。

政策推進課長 今回、座談会におきましても、やっぱりニーズ的に幅広い形で防犯対策について提案が出てございます。あわせてですね、今後に向かって進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

2 番 田 代 最後に、町長に総括として質問させていただきます。一番初めに冒頭にお話しさせていただいた防犯ボランティア、これについては、先ほどお話ししたように、ある程度地域から盛り上がってきたものなんですけど、これからやはり

総合計画に位置づける中ですか、あと8年間それを推進する中で、防犯ボランティアに対する町長の思い入れ、これについてまず1点目をお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

町 長 今おっしゃられるように、防犯ボランティアの方々の話が出ているので防犯ボランティアの人に限ってお話をしますけども、やはりふだんから自分のお仕事をお持ちであったりだとか、さまざまなか所の中で活躍もしていただいているので、防犯ボランティアの方々には、本当にもう田代議員と同じように頭が下がる思いといいましようかね、の部分があります。ですので、協議会の中で防犯ボランティアの方々からいろいろなさまざまな御提案だとか御協力をいただいている話をよくやっぱり聞いてですね、しっかりとやっていかなきゃいけないし、まずはその総論として、町の施策として、やっぱり安全で安心な場所であるということが定住化につながる当たり前のことだというふうに思っていますので、その辺の意識をですね、これはもう各種団体のさまざまな活動をしていただいている方々も同じことですが、やはり私たちの町は私たちがしっかり守っていくという意識を持っている方々に対しては、町として支援をすべきことであれば、それはもう当然やらなきゃいけないというふうに思っていますので、防犯ボランティアの方たちについてはですね、今後もさまざまな格好で御支援をしていきたい、できることをやっていきたいというふうには考えております。以上です。

2 番 田 代 ありがとうございます。よろしくお願いします。

それと、あとは新しい総合計画の総括的な考えです。31年度から8カ年ということで、まさに町長の集大成になる計画というふうに私は考えてます。現計画についてはやはり8カ年ですけども、前期4年は前の町長、それで後期になりまして町長の意見がある程度反映されるようになったと思います。今回は、もうまさに町長の思い入れをこの計画に反映するものだと思います。その中で、町長としては特にこれを力を入れてやりたいというのが何点かあると思うんですけども、それを総合計画に示されるというふうに考えてますけども、その内容のアバウトな思いで結構なので、お聞かせください。

町 長 ありがとうございます。総合計画なので、話をすると多分ほんとすごいもっ

とたくさんあるんですけどもね、ようやく皆さん方の御理解をいただいて自治基本条例ができました。やはり自治基本条例についての具体的な行動をやっぴり起こさなきゃいけないということが1点目です。

それと、2つ目は、総合計画の中に必ず入れていくというふうに思ってますけれども、SDGsですよ。やはりこの計画抜きにして物事は話せないということがあります。そのキーワードは、持続可能性なという、持続可能性というキーワードになってきますので、そこをやっていくためには、町民一体となってやっぴりやっぴりいかなきゃいけないというふうに思ってますので、そういうところで言うと、やはり自治基本条例とやっぴりセットに、持続可能なまちづくりをするためにやっぴり町民の方々が主役でないといけないという思いをふんだんにやっぴりこう中に入れてですね、行政は行政がやらなきゃいけないことをしっかりとやって、セーフティーネットをしっかりと持ったままでやっぴりいながら、それでも足りないところは、もう行政がしっかりとやっぴり入っぴりいながら、ちょうちん持ちも含めてやっぴりいかなきゃいけないと思ってますので、総合的に言うとそういう格好の中で、安心・安全で住むのはもう当然なことということでもありますけども、その3つが1つのパッケージかなというふうな思いの中で総合計画を立てていくことになろうかというふうに今のところは考えております。まだこれからいろんな議論をしていながら、さまざまな人たちがいますし、やっぴり町民の方々の思いというのと、我々行政側であったり議会の皆さん方であったりというようなところが乖離していると、やっぴり絵に描いた餅といいましようかね、総合的なほわっとしたような計画になってしまわないようにだけはしていこうというふうに思っています。以上です。

2 番 田 代 いろいろとありがとうございました。一応私の質問については以上3点、これで終わりなんですけれども、若干時間があるんで、もし許されれば、蛇足ですけども、お伺いしたいと思います。平成29年12月、昨年12月定例会で機能別消防団の設置、これについて前向きに取り組んでいきたいというふうに町長お答えいただきました。今、これについての進捗状況、どの辺まで行われているのかな。できれば30年度に設置したいというふうなようなニュアンスもあ

りましたので、差し支えがなかったら、この進捗状況についてお知らせください。以上です。

安全防災担当課長 機能別消防団につきましてはですね、現在のところ、まず本団の団長等々にはですね、お話をさせていただきまして、この前ですね、4月のときにですね、分団長会議等がありましたので、その席で御説明をさせていただいております。また、現在のところですね、対象者といったらあれですけれども、お声かけを今後していかないといけない、友の会と、消防の友の会ございますので、そちらの会長様のほうにはですね、ちょっとお話をさせていただいておまして、今後7月にですね、友の会の総会がございますので、そちらの席でですね、そういうお話をさせていただきながら進めていく予定でおります。消防団並びに各分団の分団長様のほうにはですね、非常にありがたいといったようなお声もいただいておりますので、設置といったような方向でですね、今、進めております。以上です。

2 番 田 代 丁寧な回答ありがとうございました。ぜひ30年度に実現していただけるよう頑張ってくださいと思います。以上で私の一般質問を終わります。

議 長 以上で受付番号第3号、田代実君の一般質問を終わります。

議 長 暫時休憩いたします。なお、休憩中に昼食をとっていただき、午後は1時から再開をいたします。 (11時20分)